



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

警告 この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意 この注意事項に反した取扱いをすると、人が傷害を負うまたは物的損害を負う可能性があります。

「必ずしてほしい行為」を表します。

「禁止」を表します。

「分解禁止」を表します。

「接触禁止」を表します。

警告

水道水の水質基準に適合した水以外では使用しないでください。
 ●体調を損なうおそれがあります。

注意

分解、改造はしないでください。
 ●浄水器及び水栓にかかわる修理に関しては、修理技術者以外には行わないでください。
 ●故障や破損、けが、漏水の原因になります。

凍結しない場所に設置してください。
 凍結のおそれがある場合は、凍結予防の措置をとってください。
 ●凍結による破損、漏水のおそれがあります。

ホースを極度に折り曲げないでください。
 ●ホースの破損・漏水や十分な流量が出ない場合があります。

水栓吐水口には直接手を触れたり、布巾で掃除しないでください。

必ずアンダーシンク浄水器 (Ⅱ形) 専用の水栓 (元止め式水栓) に接続してお使いください。

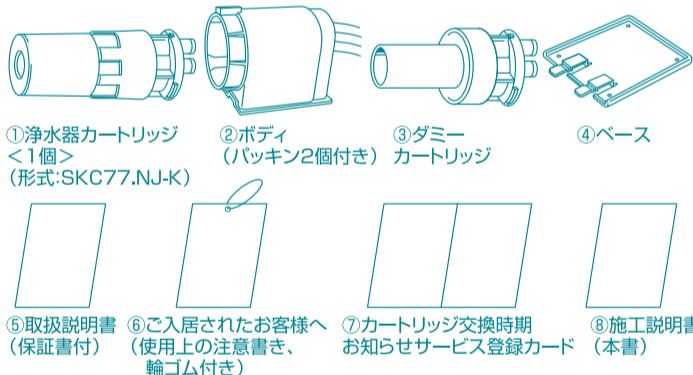
●水圧がカートリッジに直接かかる配管方法 (カートリッジを水道本管に直接接続した場合・先止め式水栓の使用・浄水器Ⅰ形用の配管) は、行わないでください。水圧による破損、漏水のおそれがあります。

施工についてはメーカー指定の部品を使用してください。
 ●指定された部品以外では漏水などのおそれがあります。

出入口ホースが正しく接続されているかを確認してください。
 ●活性炭漏れのおそれや浄水が出ない場合があります。

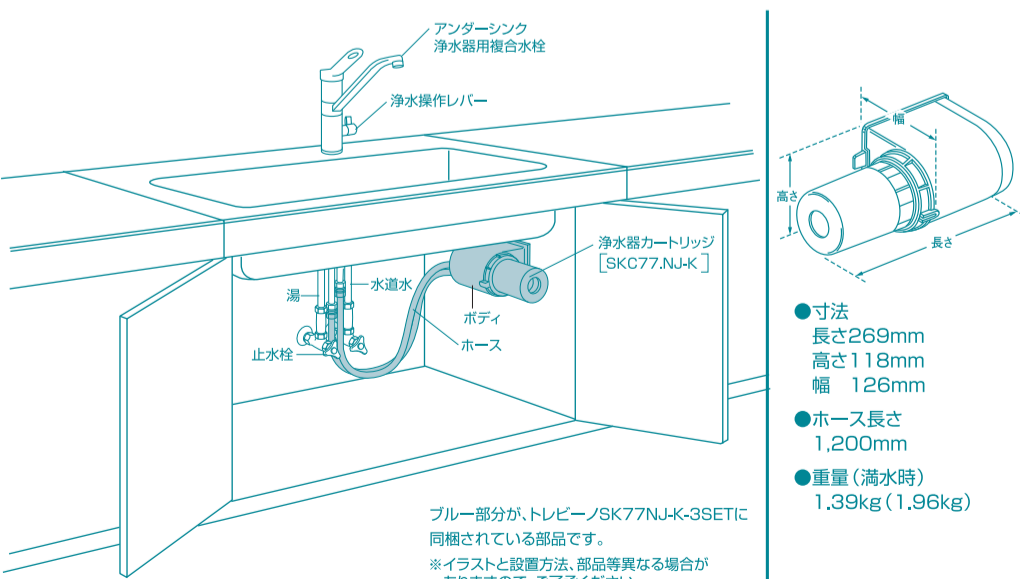
1 施工部品

●下記部品がそろっていることを確認してください。
 <浄水器キット部品>



※水栓は浄水器キットには含まれておりません。水栓はお客様でご準備くださいますようお願い致します。取付可能な水栓につきましては、トレビーノ・サービスセンターにお問い合わせください。

2 取付け



ブルー部分が、トレビーノSK77NJ-K-3SETICに同梱されている部品です。
 ※イラストと設置方法、部品等異なる場合がありますので、ご了承ください。

3 設置条件

- 水圧条件
 - 給水圧力 最低必要圧力 70kPa (0.7kgf/cm²)
 - 最高圧力 350kPa (3.5kgf/cm²)
- 350kPaを越える給水圧力の場合は、市販の減圧弁で200kPaまで減圧してください。
- 浄水器カートリッジは必ず横置きにしてください。表示性能の得られない場合があります。

4 複合水栓の取付け

●取付けの手順に従って確実に施工してください。

1. 水道元栓を締める

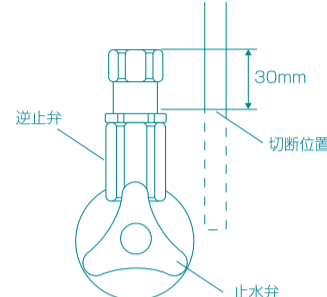
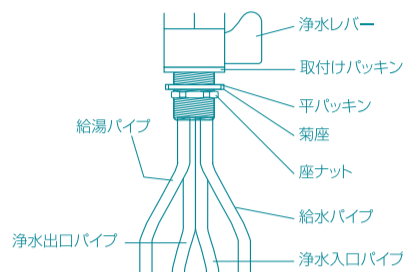
施工作業の前に、水道元栓を完全に締めてください。ただし分岐箇所の近くに止水栓がある場合には、その止水栓を「閉」にすれば水道元栓を開める必要はありません。

2. 配管に止水栓を取付ける

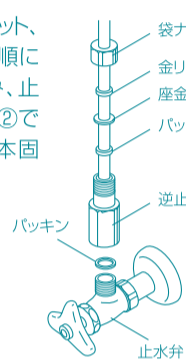
湯側、水側の配管に止水栓を取付けます。(すでに取付けられている場合は必要ありません。)

3. 複合水栓を取付ける (詳しくは水栓の施工説明書をご参照ください。)

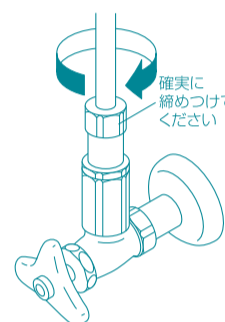
- ①複合水栓が正面を向くように (浄水レバーが右側にくるように) 仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げて広げます。この時、給水・給湯パイプはつぶさないよう注意してください。
- ②逆止弁を止水栓に仮固定し、給水・給湯パイプの必要な長さを割り出し、調整します。(複合水栓の給水・給湯パイプは長めに設定してありますので、施工現場にあわせて調整してください。) この時、逆止弁への差込長さ約30mm確保してください。



③給水・給湯パイプに袋ナット、リング、座金、パッキンを順に入れ、逆止弁に差し込み、止水栓に取り付けます。次に②で仮固定した複合水栓を本固定します。



④給水・給湯側の袋ナットを締めつけます。

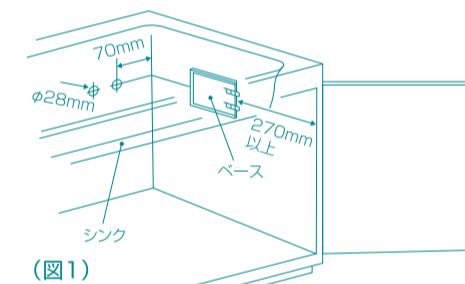


5 浄水器の据付けと配管への接続

1. ベースの設置

- ①ベースはレバー部を前に、図1のような寸法位置で設置してください。
 - 前面から: カートリッジの交換を容易にするために270mm以上奥へ
 - 天面から: ボディが水槽の下部に干渉しないようにしてください。
- ②ベースの固定は壁面が
 - A. 合板の場合は「木ネジ」 (両面テープのみでの設置はしないでください)
 - B. 金属類・プラスチック類の場合は「両面シール」を使用して設置してください。

※両面テープを使用する場合は、接着部分をよく拭いて汚れを取り、接着後には、接着部分を強く押しつけてください。また接着をやり直すとき接着性が悪くなりますので、1回で接着するようにしてください。

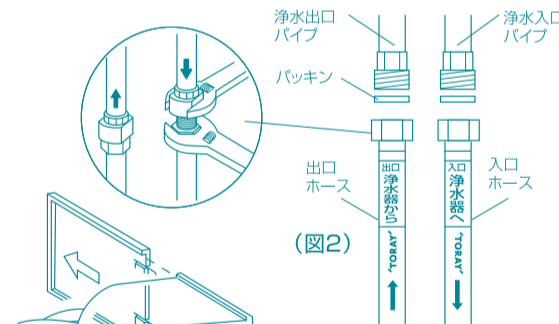


2. ホースの穴開け (確認窓がある場合)

ホース用の穴は、図1のようにベース中心部の高さで、壁面から70mmの位置に、φ28mmサイズで2ヶ所開けてください。

3. ボディと水栓の接続

ボディ側のホースを出入りの方向に注意して水栓に設置してください。(図2)
 ※出入口ホースと水栓の接続を間違えた場合、浄水ができません。
 ※水栓によっては省施工タイプのもがありますので水栓の施工説明書をご覧ください。



4. ベースへのボディ設置

ボディを図3のように、ベースのレールに合わせて設置してください。



5. ダミーカートリッジについて

- ①出荷時はダミーカートリッジがセットされています。ダミーカートリッジは、より新鮮な浄水をご利用いただくための器具です。
- ②ダミーカートリッジは実際のカートリッジより小さいため、設置位置を決める際は、必ず図1を参照してください。
- ③水栓の竣工検査はダミーカートリッジをセットしたままで実施し、2~3分間水を流して配管内の清掃も同時に行ってください。

6 設置および工事終了後の注意

1. 取付け後は、水道元栓、止水栓を開き、締めつけ各部から水漏れ等がないかを確認の上、使用テストを必ず実施してください。
 2. 水栓の浄水レバーが閉じていることを確認してください。
 3. 給水、給湯側止水栓を開いてください。
 4. 水量が多すぎたり、少なすぎることがありますので、設置後水量を調節してください。
 5. 未入居の場合は、ダミーカートリッジを接続のままにして、カートリッジは入居される方のわかりやすい場所へ置いてください。
 6. ボディ部にダミーカートリッジまたはカートリッジを接続した際、必ず青リングのレバー位置が「着」になっているか確認してください。不完全な接続は漏水の原因になります。
 7. 必ず接続部等で漏水していないか確認し、止水後、水槽をウエス等でふいてください。
 8. 「ご入居されたお客様へ」を水栓にぶらさげてください。
- 〈この施工説明書は「取扱説明書」とともにお客様にお渡しの上、大切に保管していただくようご説明ください〉

製造元
東レ株式会社 トレビーノ販売部
 〒103-8666
 東京都中央区日本橋室町2-1-1

お問い合わせ先
トレビーノサービスセンター
 フリーダイヤル ミズ ヨイク ニ
0120-32-4192
 AM10:00~12:00/PM1:00~5:00 (月~金曜日) (祝祭日・弊社休業日を除く)



安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

警告 この警告事項に反した取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意 この注意事項に反した取扱いをすると、人が傷害を負うまたは物的損害を負う可能性があります。

「必ずしてほしい行為」を表します。

「禁止」を表します。

「分解禁止」を表します。

「接触禁止」を表します。

警告

水道水の水質基準に適合した水以外では使用しないでください。
 ●体調を損なうおそれがあります。

注意

分解、改造はしないでください。
 ●浄水器及び水栓にかかわる修理に関しては、修理技術者以外には行わないでください。
 ●故障や破損、けが、漏水の原因になります。

凍結しない場所に設置してください。
 凍結のおそれがある場合は、凍結予防の措置をとってください。
 ●凍結による破損、漏水のおそれがあります。

ホースを極度に折り曲げないでください。
 ●ホースの破損・漏水や十分な流量が出ない場合があります。

水栓吐水口には直接手を触れたり、布巾で掃除しないでください。

必ずアンダーシンク浄水器 (Ⅱ形) 専用の水栓 (元止め式水栓) に接続してお使いください。

●水圧がカートリッジに直接かかる配管方法 (カートリッジを水道本管に直接接続した場合・先止め式水栓の使用・浄水器Ⅰ形用の配管) は、行わないでください。水圧による破損、漏水のおそれがあります。

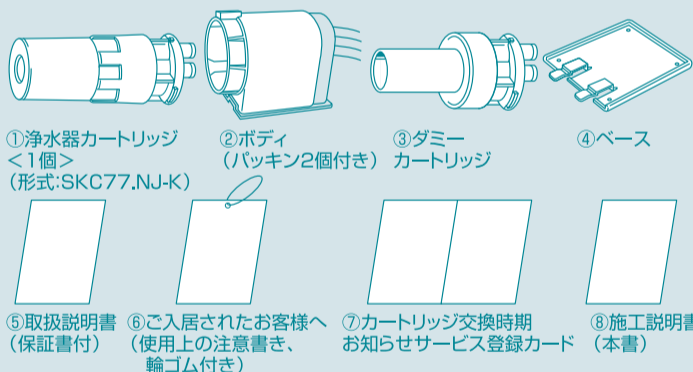
施工についてはメーカー指定の部品を使用してください。
 ●指定された部品以外では漏水などのおそれがあります。

出入口ホースが正しく接続されているかを確認してください。
 ●活性炭漏れのおそれや浄水が出ない場合があります。

1 施工部品

●下記部品がそろっていることを確認してください。

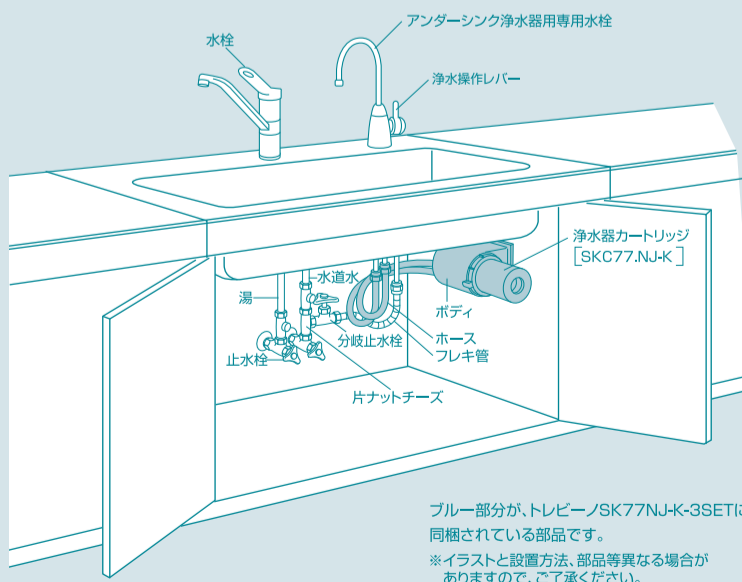
<浄水器キット部品>



※水栓は浄水器キットには含まれておりません。

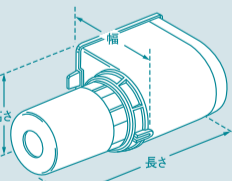
水栓はお客様でご準備くださいますようお願い致します。取付可能な水栓につきましては、トレビーノ・サービスセンターにお問い合わせください。

2 取付例



ブルー部分が、トレビーノSK77NJ-K-3SETに同梱されている部品です。
 ※イラストと設置方法、部品等異なる場合がありますので、ご了承ください。

仕様



- 寸法
長さ 269mm
高さ 118mm
幅 126mm
- ホース長さ
1,200mm
- 重量 (満水時)
1.39kg (1.96kg)

3 設置条件

詳細は、水栓の施工説明書を参照ください。

- 水圧条件
給水圧力 最低必要圧力 70kPa (0.7kgf/cm²)
最高圧力 350kPa (3.5kgf/cm²)
- 350kPaを越える給水圧力の場合は、市販の減圧弁で200kPaまで減圧してください。
- 浄水器カートリッジは必ず横置きにしてください。表示性能の得られない場合があります。

4 専用水栓の取付け

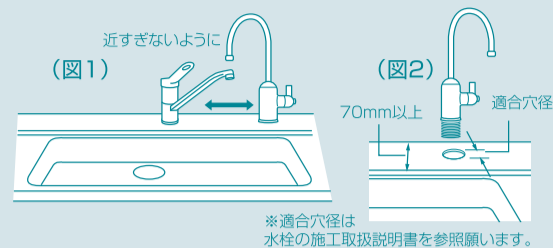
●取付けの手順に従って確実に施工してください。

1. 水道元栓を締める

施工作業の前に、水道元栓を完全に締めてください。ただし分岐箇所付近に止水栓がある場合には、その止水栓を「閉」にすれば水道元栓を締める必要はありません。

2. 浄水専用水栓の取付け位置を決める

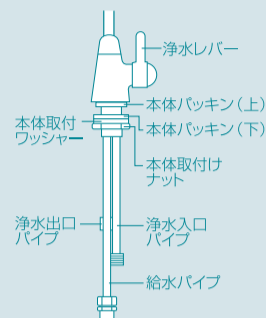
浄水専用水栓は、既設の水道水栓と離して設置してください。既設の水道水栓と近すぎる設置は、蛇口同士が接触し、使いづらい設備となってしまいます。(図1) また浄水専用水栓の取付スペースには、70mm以上が必要となります。(図2)



※適合穴径は水栓の施工取扱説明書を参照願います。

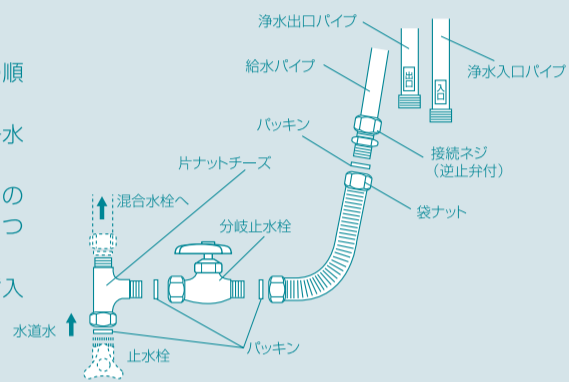
3. 浄水専用水栓を取付ける (詳しくは水栓の施工説明書を参照ください。)

- ①取付ける浄水専用水栓に合わせ、取付け穴をあけます。(専用の栓の取付け位置の素材がホーロー・大理石等の場合は取付けできません。)
- ②取付け穴に浄水専用水栓を差し込みます。この時、流し台との間に取付けパッキンを入れることにご注意ください。
- ③浄水専用水栓が正面を向くように(浄水レバーが右側にくるように)仮固定し、給水パイプを止水栓の取り出し芯に合うように曲げて広げます。この時、給水パイプはつぶさないよう注意してください。



4. 配管との接続

- ①給水配管に片ナットチース、分岐止水栓の順で取付けてください。
- ②フレキシ管を分岐止水栓に取付け、片方を浄水専用水栓の給水パイプに取付けてください。
 ※袋ナットを取り付ける時は、浄水専用栓側の接続ネジを片方のスパナで十分に締めつけてください。
 ※各部を接続する際には、必ずパッキンを挿入してください。

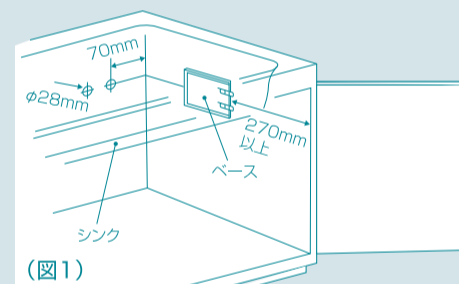


5 浄水器の据付けと配管への接続

1. ベースの設置

- ①ベースはレバー部を前に、図1のような寸法位置で設置してください。
 ●前面から: カートリッジの交換を容易にするために270mm以上奥へ
 ●天面から: ボディが水槽の下部に干渉しないようにしてください。
- ②ベースの固定は壁面が
 A. 合板の場合は「木ネジ」(両面テープのみでの設置はしないでください)
 B. 金属類・プラスチック類の場合は「両面シール」を使用して設置してください。

※両面テープを使用する場合は、接着部分をよく拭いて汚れを取り、接着後には、接着部分を強く押しつけてください。また接着をやり直すと接着性が悪くなりますので、1回で接着するようにしてください。

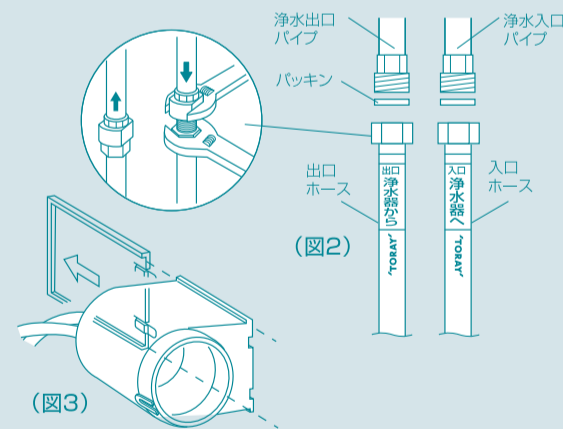


2. ホースの穴開け (確認窓がある場合)

ホース用の穴は、図1のようにベース中心部の高さで、壁面から70mmの位置に、φ28mmサイズで2ヶ所開けてください。

3. ボディと水栓の接続

ボディ側のホースを出入りの方向に注意して水栓に設置してください。(図2)
 ※出入口ホースと水栓の接続を間違えた場合、浄水ができません。
 ※水栓によっては省施工タイプのものでありますので水栓の施工説明書をご覧ください。



4. ベースへのボディ設置

ボディを図3のように、ベースのレールに合わせて設置してください。



5. ダミーカートリッジについて

- ①出荷時はダミーカートリッジがセットされています。ダミーカートリッジは、より新鮮な浄水をご利用いただくための器具です。
- ②ダミーカートリッジは実際のカートリッジより小さいため、設置位置を決める際は、必ず図1を参照してください。
- ③水栓の竣工検査はダミーカートリッジをセットしたまま実施し、2~3分間水を流して配管内の清掃も同時に行ってください。

6 設置および工事終了後の注意

1. 取付け後は、水道元栓、止水栓を開き、締めつけ各部から水漏れ等がないかを確認の上、使用テストを必ず実施してください。
2. 水栓の浄水レバーが閉じていることを確認してください。
3. 給水、給湯側止水栓を開いてください。
4. 水量が多すぎたり、少なすぎることがありますので、設置後水量を調節してください。
5. 未入居の場合は、ダミーカートリッジを接続のままにして、カートリッジは入居される方のわかりやすい場所へ置いてください。
6. ボディ部にダミーカートリッジまたはカートリッジを接続した際、必ず青リングのレバー位置が「着」になっているか確認してください。不完全な接続は漏水の原因になります。
7. 必ず接続部等で漏水していないか確認し、止水後、水槽をウエス等でふいてください。
8. 「ご入居されたお客様へ」を水栓にぶらさげてください。
 <この施工説明書は「取扱説明書」とともにお客様にお渡しの上、大切に保管していただくようご説明ください>

製造元
東レ株式会社 トレビーノ販売部
 〒103-8666
 東京都中央区日本橋室町2-1-1

お問い合わせ先
トレビーノサービスセンター
 フリーダイヤル ミズ ヨイク ニ
0120-32-4192
 AM10:00~12:00/PM1:00~5:00 (月~金曜日) (祝祭日・弊社休業日を除く)